

としょかん つうしん 4月号

ポカポカと暖かくなり植物が色とりどりの花を咲かせ、外を散歩するのが楽しい季節になりました。今回は、春を感じてもらえる本をご紹介します。



「いちご」

0歳～年少向け

平山和子さく
福音館書店

まだ冷たい雪の中、いちごは「はやくあたたかくなりたいかな」と待っています。やがてつぼみができ、花が咲いて、いちごの実が実ります。写実的に描かれたいちごが、冬から春へとだんだん赤くなり、まっ赤ないちごは思わず手を伸ばして食べたくなるほどおいしそう。春を感じることができる1冊です。

「はるかぜのたいこ」

年中向け

安房直子作 葉祥明絵
金の星社

くまの楽器屋に寒がりのうさぎがやってきます。そんなうさぎにくまはたいこを持ってきて、「どーんとたたいてごらんささい」。うさぎがたいこをたたいて目をつぶると、あたたかい風がふき、菜の花のにおいもしてきました。パステルカラーのやわらかく優しい絵で表現される春の景色に、春を迎える喜びを実感できる絵本です。



「3じのお茶にきてください」

年長向け

こだまともこさく なかのひろたかえ
福音館書店

小川から流れてきたささ舟には、3時のお茶の招待状が。まりちゃんは途中で出会うお友達や動物たちと一緒に、差出人の「みどりのみどり」さんのお家を目指します。一人また一人と増えていく仲間とのふれあいが楽しい、心が和む絵本です。みんながそれぞれに持ち寄ったもので素敵なお茶会が始まりますよ。